

感染症科 臨床研修プログラム

【指導医】

中村 嗣（感染症科部長）：日本感染症学会専門医・指導医、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医・指導医、ICD 制度協議会インфекション・コントロール・ドクター（ICD）、日本内科学会認定内科医・指導医・総合内科専門医、医学博士、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・研修指導医、日本医師会認定産業医、平成 13 年度臨床研修指導医養成講習会受講、平成 18 年度プログラム責任者養成講習会受講

【上級医】

小田川 誠治（地域総合医育成科部長）：日本感染症学会専門医、日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医、日本病院総合診療医学会認定医、ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター、日本化学療法学会抗菌化学療法指導医、日本静脈結腸栄養学会 TNT 研修会修了、認知症サポート医養成研修修了、緩和ケア研修会修了

樋口 大（地域総合医育成科医長）：日本感染症学会専門医、日本内科学会認定内科医・指導医・総合内科専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・家庭医療専門医・指導医、日本 DMAT 隊員、ICLS インストラクター、日本医学シミュレーション学会 SED インストラクター・CVC インストラクター、緩和ケア研修会修了、日本静脈経腸栄養学会 TNT 研修会修了

【期間】：4 週間又は 8 週間

【一般目標 GIO】

地域住民に信頼される感染症医師として求められる役割を理解し、基本的な問題解決に必要な知識・技能・態度を習得する。

【行動目標 SBOs】

臨床研修医に求められる感染症分野に関して基本的な臨床能力および全人的な対応を身につけるために、以下にあげた行動目標を踏まえて研修を行う。

1. 感染症診療に関して基本的な考え方を理解し説明することができる（カンファレンスなど）。
2. スタッフと良好なコミュニケーションをとることができる。
3. 所属する施設の一員であることを常に認識し、コンサルテーション補助業務・ラウンドなどを通じて役割をはたすことができる。
4. 学生教育の補助を行うことができる。
5. 感染症診療における基本的な細菌検査手技を行い、治療計画に役立てることができる。
6. 地域資源を理解し、継続して学習することができる。
7. 院内のインフォメーション・テクノロジーを用いた感染管理システムを使用することができる。
8. 医師としての社会的役割を理解し、安定した生活を営み、それぞれの場において生活を楽しむことができる。

【方略 LS (Learning Strategy)】

●On-the-job training

1. オリエンテーション・注意事項
 - ・研修第 1 週には、オリエンテーションを受け、時間配分および生活の仕方を確立する。
 - ・感染症科はコンサルテーションが主となるので、いわゆる担当患者はない。

- ・医学生の実習があるときは指導の補助を行い、自らの知識を深める。
- 2. 研修の場：医療安全推進室、細菌検査室を主とした院内各所
- 3. コンサルテーション
 - ・コンサルテーション・カルテラウンド業務に関しては、指導医とともに診療およびカルテ記載を行い、感染症コンサルテーションの実際を行う。
- 4. AST、ICT 業務
 - ・抗菌薬適正使用支援チーム（AST）ラウンドに参加し、抗菌薬の適正使用について学ぶ
 - ・感染制御チーム（ICT）ラウンドに参加し、感染制御の基本を身につける。
- 5. 細菌検査業務
 - ・細菌検査室において、微生物検査の基礎的知識、手技について学ぶとともに、培養結果の判定に関して指導医と共に行う。

●Off-the-job training

1. ミニレクチャー
 - ・ビデオレクチャーで感染症診療の基本を理解する
2. 課題検討
 - ・感染症に関連したレポートの作成等を行う

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
AM	カルテラウンド	カルテラウンド	ビデオレクチャー	細菌検査室等	カルテラウンド
PM	ビデオレクチャー	ICT ラウンド	感染症科・AST カンファレンス	課題検討	ビデオレクチャー
		課題検討	課題検討		週の振り返り

【評価 Ev (Evaluation)】

1. 研修医による評価
 - (ア) 自己評価：PG-EPOC（EPOC2）を用いて自己評価を行う。
 - (イ) プログラム評価：PG-EPOC（EPOC2）を用いて診療科（指導内容・研修環境）の評価を行う。
 - (ウ) 指導医の評価：評価票を用いて指導医・上級医の評価を行う。
 - (エ) 指導者の評価：評価票を用いて指導者に任命されている AST・ICT の看護師・薬剤師・検査技師の評価を行う。
2. 指導医による評価
 - (ア) 研修医の評価：PG-EPOC（EPOC2）を用いて行う。
 - (イ) 自己評価：評価票を用いて自己評価を行う。
 - (ウ) プログラム評価：評価票を用いて感染症科のプログラムの評価、病院全体のプログラムの評価を行う。
 - (エ) 指導者の評価：評価票を用いて指導者に任命されている AST・ICT の看護師・薬剤師・検査技師の評価を行う。
3. 指導者による評価
 - (ア) 研修医の評価：評価票を用いて行う。
 - (イ) 自己評価：評価票を用いて自己評価を行う。
 - (ウ) 指導医の評価：評価票を用いて自己評価を行う。